

学術・文化・産業ネットワーク多摩からのお知らせ

「朝日新聞・ネットワーク多摩」 提携講座 開設！

(2003年度後期開講予定)

「読んで得する新聞」論

2003年度後期より開講します。講義は東京工科大学で行い、本学多摩キャンパスでは、ライブ配信で受講することを交渉しています。(9月24日から毎水曜日17:00~18:30予定)

受講希望者は、東京工科大学での講義を直接、聴講することも可能です。(別途、手続きあり)

本学においては正規科目ではないため、単位の認定はされない予定です。

詳細、お問い合わせは下記連絡先までご連絡下さい。

学術・文化・産業ネットワーク多摩 事務局

〒192-0393 八王子市東中野742-1 中央大学学長室内 担当 柏木、綾部

TEL: 0426-74-2188 / FAX: 0426-74-2158

<http://www.nw-tama.jp/nw-tama@tamajs.chuo-u.ac.jp>

講義内容 (予定)

- ①新聞を読むと、なぜ得か——総研本部主任研究員 植竹伸太郎
- ②新聞は年寄り向けのメディアか——編集局紙面委員
- ③テレビの方が早くてわかりやすい?——電電メディア本部デスク
- ④メディアによる広告の違い——広告局デスク
- ⑤新聞はインテリが作ってヤクザが売ると言われるが——販売局デスク
- ⑥日本の新聞と外国の新聞——総研本部主任研究員
- ⑦ニュースが手元に届くまで——整理部デスク
- ⑧事件記者はカッコいいか——警視庁キャップ
- ⑨番記者は金魚の糞か——首相官邸キャップ
- ⑩経済記者はもうかるか——兜町キャップ
- ⑪特派員は世界中を飛び回っているのか——外報部デスク
- ⑫社説や記事のトーンは各紙で違うのか——論説委員
- ⑬新聞は書くべきことを書いているか——編集局長補佐
- ⑭新聞は読者に開かれているか——広報広報部長代理
- ⑮試験